

主題：アブラハム、イサク、ヤコブの神

メッセージ 13

ヤコブの神 (3)

神によって造り変えられて神の家のための神にある柱となる

聖書：創 28:18, 22 前半．箴 4:18．列王上 7:17-20．啓 3:12

I. ヤコブの夢は、上河内上に家を持つのを願っていることを明らかに示します。神の目的は、彼の召された者たちを造り変えて、石、柱、彼の建造の材料とすることです——創 28:10-22．マタイ 16:18．I ペテロ 2:4-5．啓 3:12：

- A. 創世記には、二種類の柱があります。一つは塩の柱であり (19:26)、それは恥辱を示します。もう一つは石の柱であり (28:18．35:14)、それは強さにおける建造を示します (列王上 7:21)。
- B. 創世記第 28 章で、ヤコブは押しのける者でしたが、第 28 章に来る時、この押しのける者は徹底的に造り変えられて神の人になりました。この神の人は柱です——28:18, 22 前半．参照、箴 4:18。
- C. 「勝利を得る者を、わたしの神の宮の柱にしよう。彼はもはや決して外に出ることはない。わたしはまた彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち天から出て、わたしの神から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記そう」——啓 3:12．参照、8 節：
 - 1. 「しよう」という言葉はとても意義があり、何かに構成する、創造的な方法で構築することを意味します。主はわたしたちを柱にします。それはわたしたちを造り変える、すなわち、わたしたちの天然の要素を追い出し、彼の神聖な本質で置き換えることによります——II コリント 3:18．ローマ 12:2。
 - 2. 勝利者が宮の柱になることは、彼らが三一の神の中で柱になることを意味します。なぜなら、宮は「主なる神、全能者と小羊」であるからです——啓 21:22．参照、詩 90:1．ヨハネ 14:23。

II. ヤコブの生涯と経験は、わたしたちが造り変えられて神の建造のための柱になることができる道を啓示します：

- A. わたしたちの選びは神のあわれみによるので、わたしたちは絶えず彼のあわれみに依り頼み、日ごとに彼の新しいあわれみを享受して、あわれみ、誉れ、栄光の器となる必要があります——ローマ 9:11-13, 16, 21, 23．哀 3:21-24。
- B. わたしたちは彼をすべてに十分な神として享受する必要があります——創 48:3．17:1．ピリピ 1:19。
- C. わたしたちは彼の継続的な牧養を、生涯の最後まで享受する必要があります——「この日までわたしの全生涯にわたってわたしを牧された神」——創 48:15 後半．参照、啓 3:8。
- D. わたしたちは神の御顔を見つめ (創 32:30．II コリント 3:18．4:6-7)、御顔を求め (詩 27:8, 4)、御顔をわたしたちに仕える供給として享受し (出 25:30．33:11 前半)、キリストの御顔、パースンの中ですべてのことは行ない、栄光から栄光へと造り変えられる必要があります (II コリント 2:10．参照、13:14)。三一の神がわたしたちの中に分与される時、わたしたちは恵みとしての三一の神の御顔、平安としての顔つきを持ちます (民 6:25-26)：

1. 神を見ることは、神を獲得して神で構成されることです——ヨブ 42:5-6。
 2. 神を見ることはわたしたちを造り変えます。なぜなら、神を見ることで、わたしたちは彼の要素を内側に受け入れ、古い要素が排出されるからです——II コリント 3:18. ローマ 12:2。
- E. 聖書では、柱はからだの生活を実行することで造り変えられることによる神の建造のしるし、証しです——創 28:22 前半. 列王上 7:15-22. ガラテヤ 2:9. I テモテ 3:15. 啓 3:12. ローマ 12:2. エペソ 4:11-12 :
1. 創世記第 28 章 18 節によれば、ヤコブは枕にしていた石を取り、それを立てて柱にしました :
 - a. 石が枕になることは、キリストの神聖な要素がわたしたちの中に構成し込まれて、彼に対する主観的な経験側の安息のための柱になることを表徴します(参照, マタイ 11:28-30)。
 - b. 枕が柱になることは、わたしたちが経験し、安息しているキリストが、神の建造、神の家のための材料、支えになることを表徴します——列王上 7:21. I テモテ 3:15。
 2. 宮の柱は青銅で建てられており、これは神の裁きを表徴します——列王上 7:14. 参照, ヨハネ 3:14 :
 - a. 神に対して有用である者は、絶えず神の裁きの下におり、自分が肉にある人であって、死と葬り以外に何の価値もないことを認識しています——詩 51:5. 出 4:1-9. ローマ 7:18. マタイ 3:16-17。
 - b. わたしたちは、自分ガムであって、十字架につけられる資格があるだけであることを判断しなければなりません。わたしたちは何であって、神の恵みにより、それは神の恵みであって、わたしたちが労苦することではありません——I コリント 15:10. ガラテヤ 2:20. I ペテロ 5:5-7。
 - c. 信者たちの間に分裂があつて実がないのは、青銅がなく、神の裁きがないからです。むしろ、高慢、自慢、自己弁護、自己義認、自己是認、自己弁明、自己の義、人を罪定めすること、人を牧し求めるのではなく規制することがあるからです——マタイ 16:24. ルカ 9:54-55。
 3. 宮の中にある柱の柱頭の上には、「鎖で編んだ格子細工の網(格子のようなもの)」がありました。これらは、複雑で混合した状況を表徴しており、その中で、神の建造において柱である者たちは、生き、責任を負います——列王上 7:17。
 4. 柱頭にはゆりとざくろがありました—— 18-20 節 :
 - a. ゆりは神にある信仰の生活、神がわたしたちにとって何であるかによって生きる生活であり、自分による生活ではありません。青銅は、「わたしではない」を意味し、ゆりは「キリストである」を意味します——雅 2:1-2. マタイ 6:28, 30. 参照, II コリント 5:4. ガラテヤ 2:20。
 - b. 柱頭の花の上にあるざくろは、豊満、満ちあふれと美しさ、命としてのキリストの豊富の表現を表徴します——列王上 7:20. 参照, ペリピ 1:19-21 前半。
 - c. 網細工の交差と網細工の抑制によって、わたしたちは神に信頼する純粹で単純な生活をし、命における神の建造のために、キリストの神聖な命の豊富を表現することができます。